



# 2024年度

## 早稻田大学大学院法学研究科

### 入学試験要項

2024年4月入学  
修士課程 一般入試

早稻田大学

## 法学研究科における3つの方針(ポリシー)

### I 卒業認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

早稲田大学は、「学問の独立」「学問の活用」「模範国民の造就」を建学の本旨とし、21世紀においては、世界市民としてのたくましい知性としなやかな感性を備える人材の養成を目指している。早稲田大学大学院における専門的な法学教育は、この目的に沿って、法学研究科と法務研究科を両輪として展開される。法学研究科は、自由討究と独創的な学術的研鑽を通じて世界の法学に裨補(ひほ)し、法務研究科は、法律専門職の養成機関として学理の内外法務への応用を目指すものである。

法学研究科修士課程民事法学専攻・公法学専攻・基礎法学専攻は、現代社会における知識・技能の細分化と多様化、地球的規模の課題の出現などに応答すべく、より深い法的な専門性を備える法学研究者および現代法務へのより高い応用力をもつ法律専門職業人を養成し、内外の学術水準および法務の質の向上に貢献することを目的とする。

この目的に即して、修士課程は、(1)学術的な発展可能性のある問題を設定する力、(2)新規性のある研究を遂行する力、(3)研究を適切に管理・表現する力を修得し、(4)その知見を用いて専門家と協働する姿勢と(5)高い学術倫理とを備える学生に対して、学位を授与する。

#### 1. 学修成果・学位授与基準

以上を踏まえ、法学研究科修士課程(民事法学専攻、公法学専攻、基礎法学専攻)は、学位を授与されるために必要とされる成果ならびに能力・資質を、次のとおりに定める。

- (1) (問題設定力) 法的な思考様式に従うとともに、正確な学術的情報の調査に基づき、発展可能性のある研究課題を設定したこと。
- (2) (研究新規性) 研究課題に関する従来の議論状況を適切に理解し、既存の研究に対して新規性のある知見を加えたこと。
- (3) (研究遂行力) 本研究科が教育目標に沿って設定した科目を履修して所定の単位を取得することにより、法学研究の基礎となる専門的知見を修得するとともに、それによって得た知見を討論や報告を通じて他者に提示し、学術的文書において論理的に表現することができること。
- (4) (協働の姿勢) 専門的な知見によって法律家共同体の成員としての信認を得て、学術の発展や法務の実践にとって意味のある研究を行うことができること。
- (5) (学術倫理) 高度の法学的知識の獲得を常に追求し、高い学術倫理と知的誠実さをもって研究する態度を修学中に一貫してもつこと。

#### 2. 学修成果の判断

本研究科が教育目標に沿って設定した科目を履修して所定の単位を取得し、かつ、研究指導を受けて修士論文を提出し、その審査および口頭試験に合格すること。

## II 教育課程の編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

修士課程(民事法学専攻、公法学専攻、基礎法学専攻)は、現代社会における知識・技能の細分化と多様化、地球的規模の課題の出現などにも応答すべく、より深い法的な専門性を備える法学研究者および現代法務へのより高い応用力をもつ法律専門職業人を養成し、内外の学術および法務の質の向上に貢献することを目的とする。

1. 修士課程(民事法学専攻、公法学専攻、基礎法学専攻)では、この目的に即して、その教育課程を、以下の方針に基づいて編成し実施する。
  - (1) 専攻を問わず、修士課程における研究を遂行するために必要とされる基礎的知見を教授する共通科目・随意科目を置き、法学研究の方法、研究倫理、学術情報検索、国際的なコミュニケーション力等、各専攻の専修科目およびこれに関連する科目に取り組むための能力・姿勢を養成する。
  - (2) 専攻は、専修に細分し、専修単位による集団指導を行うとともに、専修ごとに履修科目を設けることで、法に関する専門的知識・技能を修得するための履修体系を制度的に明示する。
  - (3) 専修科目は、各専攻が主体となって運用する科目であって、当該専攻分野に関する専門的知見のほか、比較法をはじめとする基礎研究の遂行に必要な知識・技能を扱うものを多数提供する。
  - (4) 授業については、専門的知識の修得のみならず、コミュニケーション力の涵養にも意を用い、双方向の討論による教育を広く行う。
  - (5) 研究倫理および学術情報検索については、修士論文の執筆指導において具体的に指導を行うとともに、(1)の共通科目における研修を受けることを推奨する。
  - (6) 各科目的成績評価については、平常点を基礎とし、科目の特性に応じてレポート等の課題達成状況も考慮して評価する。
2.
  - (1) 修士論文については、正指導教員と2名の副指導教員が指導にあたり、学生による自律的で自主的な調査研究を支援するために、研究課題の設定、学術文献や関連資料等の収集、論文の執筆等について必要な支援を行う。課題については、専攻分野における発展可能性のあるものを設定するものとする。論文作成の指導においては、必要十分な文献等の学術調査を行うように上記の正副指導教員が指導する。論文の内容については、批判的分析力をもって考察を進め、明確な論拠を論理的に示すように指導する。
  - (2) 修士論文の評価にあたっては、先行業績を的確にフォローし、文献・資料が適切に引用されているか、明確な問題意識に基づく論証分析が行われ、将来の独創的研究への発展可能性または実践法務への応用可能性が示されているかを特に考慮する。

## III 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

修士課程(民事法学専攻、公法学専攻、基礎法学専攻)は、MD(修士・博士)一貫指導体制を基礎とし、法学の全分野を対象として、専修分野における精深な学識を備えた人材を養成するために、各専修における集団指導のもとでの研究指導および修士論文の作成を通して、既存の研究に対して新規性のある知見を加え、学術の発展や法務への応用的実践にとって意味のある研究を行う能力を涵養することを目的とする。

1. そうした課程の目的に応じるべく、以下に掲げる各要素を備える者の入学を期待する。
  - (1) 法学の基本知識を有することを基礎として、進取の精神をもって法的な課題を特定し、それに対する解を提案し、論理的に説明することができる。
  - (2) 自主独立の精神をもって自他の個性を認め、公正な視点で多様性を受容する姿勢とともに、他者との相互理解を実現する力をもつこと。
  - (3) 専門的な知見を得て、法学界の一員として法学の発展に貢献し、または法実務における新規の問題に挑戦する気概をもつこと。
2. 修士課程(民事法学専攻、公法学専攻、基礎法学専攻)は、1に掲げる諸要素を応募者がどれほど備えているかを、入学前の学習歴に応じて審査して選考する。
  - (1) 一般入試においては、学士の学位を授与され、またはこれに準ずる知識・技能を有する者を対象として、出願書類、外国語科目および専門科目についての筆記試験ならびに口述試験によって学力を審査する。
  - (2) 自己推薦入試においては、早稲田大学法学部において良好と認める卒業成績を修めた者を対象として、出願書類および口述試験によって学力を審査する。
  - (3) 社会人入試においては、大学卒業相当の学力を有し、各個の研究課題に関する実務経験または強い関心をもつ者を対象として、出願書類、小論文試験および口述試験によって学力を審査する。

# 目 次

## ●修士課程 一般入試要項

1. 募集専修 .....	1
2. 受験要領 .....	2
3. 入学手続 .....	17

## ●法学研究科案内

1. 専修からのメッセージ .....	18
2. 履修・進学について .....	18

●奨学金制度 .....	20
--------------	----

●外国学生（外国籍）の方へ（在留資格について） .....	22
-------------------------------	----

博士後期課程入学試験及び一般科目履修生募集は本年11月下旬以降に行います。

この「入学試験要項」では、携帯電話・スマートフォン・タブレット・PHS・スマートウォッチ等の通信機能を持つた機器をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。

## ○個人情報の取扱いについて

本学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格発表、入学手続およびこれに附隨する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすることがあります。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことを持って、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。これらの他、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。

なお、本入試においては、株式会社サマディ（<http://www.samadhi-group.com/>）が提供するオンライン出願システム「The Admissions Office」を使用します。本システムの利用にかかる個人情報の取扱については、以下の内容をご確認いただき、予めご了承の上、出願をしてください。「[The Admissions Office 利用規約（早稲田大学）](#)」

# 早稻田大学大学院法学研究科修士課程一般入試要項

## 1. 募集専修

専攻名	専修名	研究指導担任者				
民事法学 専攻	民 法	青木 則幸	秋山 靖浩	大澤 慎太郎	大塚 直	大場 浩之
		三枝 健治	白石 大	橋本 有生	山口 斎昭	山城 一真
		山野目 章夫				
	商 法	大塚 英明	尾形 祥	黒沼 悅郎	小出 篤	鳥山 恭一
		箱井 崇史	福島 洋尚	若林 泰伸		
	民事手続法	内田 義厚	菅原 郁夫	高田 昌宏	棚橋 洋平	勅使川原 和彦
		中本 香織	松村 和徳	山本 研		
	労働・社会法	大木 正俊	菊池 馨実	竹内 寿		
	知的財産権法	上野 達弘	鈴木 將文	ラーデマッハ クリストフ		
	環境法	大塚 直	森本 英香			
	経済法	岡田 外司博	土田 和博			
	国際関係法(私法)	久保田 隆	種村 佑介	道垣内 正人		

専攻名	専修名	研究指導担任者				
公法学 専攻	憲 法	愛敬 浩二	江原 勝行	金澤 孝	中島 徹	長谷部 恭男
	行政法	岡田 正則	下山 憲治	田村 達久	人見 剛	渡辺 徹也
	刑 法	遠藤 聰太	北川 佳世子	杉本 一敏	田山 聰美	松澤 伸
		松原 芳博				
	刑事訴訟法	小川 佳樹	酒巻 匡	稗田 雅洋		
	刑事政策	小西 曜和				
	国際関係法(公法)	河野 真理子	萬歳 寛之	古谷 修一		

専攻名	専修名	研究指導担任者				
基礎法学 専攻	法哲学	郭 舜				
	法史学	原田 俊彦	和仁 かや			
	法社会学	(募集停止)				
	英米法	中村 民雄				
	フランス法	大橋 麻也				
	ロシア・東中欧法	渋谷 謙次郎				
	中國法	文 元春				

※上記内容は変更されることがあります。その都度更新しますので、定期的にチェックしてください。

※募集は、指導教員単位ではなく、専修単位で行ないます。指導教員は学生の研究内容を考慮して決定します。

## 2. 受験要領

### (1) 出願資格

- ① 大学を卒業した者、または2024年3月までに卒業見込みの者。
- ② 大学改革支援・学位授与機構により、学士の学位を授与された者、および2024年3月までに授与される見込みの者。
- ③ 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、および2024年3月までに修了見込みの者。
- ④ 外国の大学やその他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者、または2024年3月までに授与される見込みのある者。
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者。
- ⑥ 大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了、もしくは2024年3月までに修了見込みの者で、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者。
- ⑦ 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2024年4月までに22歳に達する者。

※最終学歴が中国の大学の専科(3年制)の場合には出願資格はありません。ただし、専科を卒業後に本科を卒業して16年の学校教育を修了した場合は出願を認めます。

※上記⑥⑦に該当する方は、事前に個別審査を受け、出願許可を得る必要があります。詳しくは本研究科事務所へお問い合わせください。

身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、本研究科までお問合せください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問合せください。

本大学(学校法人早稲田大学が設置する早稲田大学その他の学校をいう。以下同じ。)の教員は、本大学の学籍を有することができませんので注意してください。ただし、規程上認められている場合もありますので、不明点がある場合は所属箇所事務所を通じて本部にお問い合わせください。

### (2) 募集人員

民事法学専攻	60名以内
公法学専攻	
基礎法学専攻	

※先端法学専攻(LL.M.コース)は本入試では募集しません。

### (3) 出願期間・出願方法

出願期間：2023年7月24日（月）～7月28日（金）23:59 ※日本時間

出願方法：出願システム “The Admission Office (TAO)” より受け付けます。

※出願書類の提出は出願システム “The Admission Office (TAO)” より受け付けます。

※出願期間内に必ず検定料の納入およびTAO上での出願を完了してください。検定料の納入が確認できない場合、またTAOの出願が完了となっていない場合は受理できません。

#### (4) 入学検定料

検定料 : **30,000円**

支払可能期間 : **2023年7月24日（月）～7月28日（金）**

支払い方法 : 以下記載の A または B

※出願前に必ず振込んでください。出願後の振込は一切認めません。

※国費外国人留学生として本研究科に入学する方は、検定料が後日返金される場合があります。

※OECD/DACが発行するODA受給国リストに掲載される「Least Developed Countries」「Other Low Income

Countries」の認定国に居住し、かつ該当国の国籍を有する方は、本人からの申請に応じて検定料を免除します。該当する方は出願前に本研究科事務所までご相談ください。(日本国内からの出願は対象外)

#### A. クレジットカード・中国オンライン決済

・クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンより「インターネット上の支払いサイト」 (<https://e-shiharai.net/card/>) にアクセスをして所定申込手続を完了させる必要があります。

※英語版のURLは上記とは異なりますのでご注意ください。 (<https://e-shiharai.net/ecard/>)

・支払い終了後、収納完了の画面 (PDFまたは写真) を TAO にアップロードしてください。

※支払いは、土日・祝日を問わず、24 時間いつでも可能です。

※支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続をする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。

・e-shiharai.netの「カテゴリ選択」では、以下のとおり選択してください。

第一選択	法学研究科
第二選択	2024年4月入学
第三選択	修士課程
第四選択	一般入試(国内受験) 30,000円

#### B. コンビニ検定料収納

・入学検定料は最寄りのコンビニエンスストアで支払ってください。

・コンビニエンスストアでの支払いに際しては、事前にパソコンもしくは携帯電話よりインターネット上の「入学検定料コンビニ支払いサイト」 (<https://e-shiharai.net/>) にアクセスをして所定の申込手続を完了させる必要があります。

・支払い終了後、収納証明書 (明細書) (PDFまたは写真) を TAO にアップロードしてください。

・支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。ただし、納入期間最終日の「Webサイトでの申込」は23:00まで、コンビニエンスストア店頭での支払手続は23:30までとなりますので注意してください。

※家族・知人が代理で手続をする場合でも、必ず志願者本人の情報を入力するようしてください。

※コンビニエンスストアでの支払いが困難な方は、事前に当学部（研究科）まで連絡してください。

・e-shiharai.netの「カテゴリ選択」では、以下のとおり選択してください。

第一選択	法学研究科
第二選択	「次の第3選択へ」
第三選択	「次の第4選択へ」
第四選択	修士課程 一般／社会人 30,000円

# 早稲田大学

## クレジットカード・銀聯カードでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!これが簡単・便利なシンプルスタイル!

クレジットカード・銀聯カードを利用して検定料のお支払いが可能です。



画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net>



端末の未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

Web申込みオンライン決済

出願

1. トップページ お支払い先を選択してください。
2. 学校選択 申し込みをする学校の学校名をクリックしてください。
3. 学校案内 注意事項等を確認のうえ、個人情報の取扱について同意してください。
4. カテゴリ選択 第1～第4選択を選択して「次へ」をクリック
5. 基本情報入力 申込者本人の基本情報を入力してください。  
支払い方法を選択し、「次へ」をクリック

### クレジットカードの場合

支払いに利用するカード番号(16桁)を入力してください。  
※American Expressの場合は15桁  
※お支払いされるカードの名義人は申込者本人でなくても構いません。

全入力内容が表示されますので、  
よろしければ「上記の内容で確定する」をクリック

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する  
携帯電話をご利用の場合は、プリントのある環境で申込内容照会を行ってください。

### 銀聯カードの場合

画面の指示に従って、支払いを完了してください。

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する



出願時には、「照会結果」の画面を

出願システム（TAO）にアップロードしてください。

#### 【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願・申請書類に記載されている支払い期間内であれば、いつでもお支払可能です。  
支払い期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払ください。
- 支払最終日は日本時間の23:00までにカード決済を完了させてください。
- 銀聯カードで決済する場合は、パソコンからお申し込みください。
- カードの名義人は、申込者本人でなくとも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- 申込内容照会は、e-shiharaiサイトの「申込照会」にて、お申し込み時に通知された  
【受付番号】【生年月日】を入力すると表示されます。
- カード審査が通らなかった場合は、カード会社へ直接お問い合わせください。

#### ■手数料について

検定料の他に事務手数料が別途かかります。

入学検定料金額	事務手数料(消費税込)
~ 29,999 円	565 円
30,000 円 ~ 49,999 円	1,005 円
50,000 円 ~ 69,999 円	1,446 円
70,000 円 ~ 99,999 円	1,833 円
100,000 円 ~ 199,999 円	2,074 円
200,000 円 ~ 299,999 円	2,618 円
300,000 円 ~	4,400 円

事務手数料は変更になる場合があります。

クレジットカード・銀聯カードでの検定料納入についてのお問い合わせは、サイトのよくある質問をご確認ください。

# 早稲田大学 コンビニエンスストアでの検定料払込方法

検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」で24時間いつでも払い込みが可能です。

## ① まずはパソコン、スマートフォンで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

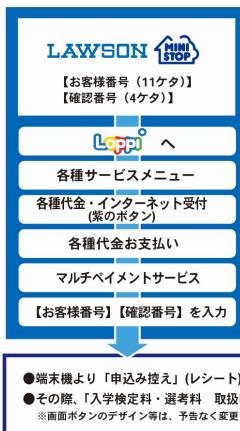
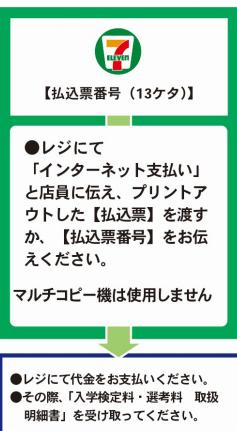


<https://e-shiharai.net/>



端末の未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。  
※入力内容を間違えた場合は、始めからもう一度やり直し、新たな番号を取得してお支払いください。  
申込み完了後に通知する支払期限内に代金を支払わなければ、入力情報は自動的にキャンセルされます。

## ② コンビニでお支払い



## ③ 出願

出願時には、「取扱明細書（収納証明書）」の写真または PDF を  
出願システム（TAO）にアップロードしてください。

### ■ 注意事項

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。
- 一度お支払いされた検定料は、コンビニでは返金できません。
- 取扱いコンビニ、支払い方法は変更になる場合があります。  
変更された場合は、Webサイトにてご連絡いたします。

- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。



検定料が5万円未満	500円
検定料が5万円以上	720円

事務手数料は変更になる場合があります。

「検定料納入」についての問い合わせは、コンビニ店頭では  
お応えできません。詳しくはサイトをご確認ください。

<https://e-shiharai.net/>

## (5) 出願方法

オンライン出願システム「The Admissions Office」(以下、TAO)より出願申請および出願書類の提出を行ってください。手順は以下の記載のとおりです。

※TAOへの入力は、出願期間開始前より可能です。

※必ず「出願を完了する」ボタンのクリックまでを、出願期間内(2023年7月24日(月)～7月28日(金)23:59 ※日本時間)に完了するようにしてください。

① TAO (<https://admissions-office.net/ja/portal>) にアクセスし、「会員登録」を選択



② 出願者アカウントを作成

This screenshot shows the 'Outbound Account Creation' page. It has a 'Japanese' language selection dropdown and a note indicating that fields marked with an asterisk (\*) are required. A red arrow points from this screen down to the next step.

※本入試においては、表示言語は「日本語」を選択してください。

③ 登録を完了

必要な情報を入力した後、登録したメールアドレス宛に登録確認のメールが送信されます。そのメール文中にある「登録を完了する」をクリックしてください。

④ ログイン後、出願受付中の大学の中から「早稲田大学」を選択。



⑤ 学部 / 研究科名: 「法学研究科」を選択

⑥ 募集名: 「2024年4月入学 修士課程 一般入試」を選択

⑦ 「出願を開始する」をクリックし、必要項目に入力・書類の提出

⑧ 全ての入力および書類提出ができたことを確認し、「出願を完了する」を選択

※上記画面と申請画面が異なる可能性がありますが、「出願を完了する」を選択いただければ問題ありません。

※必ず、「出願を完了する」まで実行ください。押し忘れに注意してください。「出願中」の場合は受付ません。

<出願上の注意>

- ・入学検定料支払いと出願書類の提出・受理をもって出願が完了します。
- ・出願書類の提出はすべてWeb出願システム(TAO)で行います。郵送、大学窓口への持ち込みは一切認めません。
- ・出願締切日を過ぎた書類提出は一切受け付けません。
- ・出願手続き完了の有無に関する問い合わせにはお答えできません。
- ・出願書類に不備や不足書類があった場合は、出願を受理しないことがあります。必要書類が揃っているか十分に確認の上、出願をしてください。また本研究科から連絡があった時はすみやかにその指示に従ってください。
- ・出願の際に提出した書類・資料、提出した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とし、合格・入学が取り消されます。この場合、一度納入された「入学検定料」、「登録料(入学金相当額)」、「学費等(春学期分)」および「出願書類」、「入学手続書類」等は返還しません。
- ・出願時に TAO 上で提出いただく証明書類(卒業証明書・成績証明書等)は、デジタルコピー(原本のPDF等)で可とされていますが、合格後、入学手続の際には、全ての当該証明書の原本を提出いただきます。入学手続締切日までに証明書の原本を提出できない場合、あるいは出願時に提出されたデジタルコピーと内容が異なるものが提出された場合は、入学手続未了とみなし、入学を認められませんので注意してください。
- ・TAOより提出したデジタルコピー(原本のPDF等)が不鮮明で読み解不能な場合、書類不備として扱い、出願を受理しないことがあります。証明書等PDFをTAOにアップロードする際はご注意ください。
- ・出願後に、TAOに登録された住所・電話番号・Eメールアドレス等を変更した場合は、速やかに本研究科事務所に連絡をしてください。登録情報を変更したことが原因で本学からの連絡が届かなかったとしても、本学は一切の責任を負いません。

本学では、入学試験の円滑な実施と入学手続の必要上、合理的理由があると判断される必要最小限に留め、戸籍上の性別情報を収集しています。性別情報が合否に影響を及ぼすことは一切ありません。

<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/>

## (6) 出願書類

※出願書類に不備や不足書類があった場合には、出願を受理しないことがあります。

※[所定様式]は、本研究科ウェブサイトよりダウンロードください。

提出書類	
志願票 [所定様式]	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての項目において、漏れなく、誤りの無いよう記入してください。出願後に、志願票に書かれた<u>住所・電話番号・Emailアドレス等</u>を利用して本研究科より連絡を取る場合がありますので、間違いの無いように記入してください。</li> <li>学歴については、予備校・語学学校などの記入は不要です。</li> <li>記載した同じ内容を、出願システム（TAO）にも入力いただきます。</li> </ul>
入学検定料 収納証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>検定料をクレジットカード・中国オンライン決済、またはコンビニで支払った際の検定料支払い完了が分かる証明（明細書のPDF・写真や照会Web画面）を出願システム（TAO）にアップロードしてください。</li> </ul>
顔写真 (縦4:横3)	<ol style="list-style-type: none"> <li>出願時から3ヶ月以内に撮影したカラー写真（タテ4：ヨコ3の比率・上半身・正面・無帽・無背景・粹なし）をアップロードしてください。なお後述のとおり、入学手続時には出願時と同じ写真のデータ版をアップロードすることとなりますので、カラー写真データは大切に保管しておいてください。</li> <li>マフラーやサングラスなどを着用したままで撮影された写真は受け付けません。ただし、医療上、宗教上の理由で帽子等を着用した写真を提出したい場合は、出願に先立ち、お問合せください。</li> <li>顔写真は、試験当日の本人確認として使用しますので、スナップ写真等の不鮮明な写真や、髪型の違い等により個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。</li> <li>スマートフォン等で個人が撮影・印刷された写真は受け付けません。必ず証明写真（スピード写真可）で撮影してください。</li> <li>入学手続時に学生証用の写真を別途アップロードすることとなります。その際は出願時と同じ写真を使用してください。なお入学手続時にアップロードした写真は学生証のほか、学内諸手続における本人確認および学内の各種Webサービス等に本人情報として登録しますので、あらかじめご了承ください。</li> </ol>
各種証明書  <要原本> <日本語または英語>	<p>証明書共通 注意事項</p> <p>注 1. 証明書は<u>日本語または英語</u>で書かれたものを提出してください。他言語の場合は、翻訳文を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書（原本）とあわせて提出してください。          注 2. 志願票の「学歴」欄に記載した学歴の証明書はすべて提出してください。          （大学の科目等履修生を学歴に記載した場合は、必ずその在籍を証明する証明書も提出してください）          注 3. 大学卒業後、大学院に進学した場合は、大学と大学院の証明書の両方を提出してください。          注 4. 大学・大学院に在学中に留学をされた場合は、留学期間および留学中に取得した成績が明記された証明書を提出してください。          注 5. 証明書記載の氏名と出願氏名と異なる場合は、戸籍抄本等もご提出ください。          注 6. 休学・兵役等の期間があった場合は、その旨を証明する大学または公的機関発行の証明書を提出してください。          注 7. <u>中国の大学を卒業(修了)し、学位を取得した学生は学位取得証明書と卒業(修了)証明書の両方を提出してください</u>（中国の大学を卒業して学位が取得できなかった場合でも、通常の課程による16年の学校教育を修了していれば出願資格はあります）。</p>
①卒業（修了）証明書  ②成績証明書  <中国の大学出身者のみ> ③学位取得（見込） 証明書  <中国の大学出身者のみ> ④Online Verification Report (CSSD)	<p>①卒業（修了）証明書</p> <p>※見込みの場合は 卒業（修了）見込証明書</p> <p>【中国の大学出身者のみ】          ※卒業証明書に卒業番号も記載されているものを提出してください。記載がない場合は卒業証書のコピーを提出してください。</p> <p>②成績証明書</p> <p>【中国の大学出身者のみ提出】          1. 成績証明書は、大学学部以上の全学期の成績が記載されたものを提出してください。大学卒業後、大学院も修了（見込含む）した場合は、大学・大学院両方の成績証明書を提出してください。          2. 編入学している者は編入学前の学部の成績証明書も提出してください。          3. 飛び級または繰り上げ卒業により、飛び級した学年、理由等が証明書に記載されていない場合は、それを証明する大学作成の書類を提出してください。</p> <p>③学位取得（見込） 証明書</p> <p>【中国の大学出身者のみ】          1. 中国の大学を卒業し学位を取得した方は提出してください。          2. 学歴に記載した全ての大学（<u>学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む</u>）の学位証明書を提出してください。          3. 学位を取得していない場合は、提出書類チェックリストの不足書類欄に記入してください。          ※中国の大学を卒業して学位が取得できなかった場合でも、通常の課程による16年の学校教育を修了していれば出願資格はあります。</p>

	<p>&lt;中国の大学出身者のみ&gt;</p> <p>④ CSSD(CHESICC) Online Verification Report</p>	<p><b>【中国の大学出身者のみ提出】</b> CSSD(CHESICC)発行の以下<u>3つ</u>の認証証明書を出願システム（TAO）にアップロードしてください。 また、本研究科 Email アドレス宛 (gradlaw@list.waseda.jp) への<u>直送も手配ください</u>。Email への直送は出願期間前に到着した場合にも受理いたします。</p> <p><b>1. 成績の認証</b> 英文の「Verification Report of Higher Education Students Academic Transcript」</p> <p><b>2. 卒業（修了）の認証</b> 卒業者 : 英文の「Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」 卒業見込者 : 英文の「Verification Report of Student Record」</p> <p><b>3. 学位取得の認証</b> 卒業者 : 英文の「Verification Report of Higher Education Degree Certificate」 卒業見込者 : 卒業確定後（法学研究科入学前まで）に上記認証を提出ください。</p> <p><b>※ご自身での TAO へのアップロードと CSSD からの Email 直送、両方が必要です。</b> ※学歴に記載した<u>全ての中国の大学</u>（学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む）のものを手配してください。 ※CSSD (CHESICC) からの手続きが間に合わない場合には、事前に法学研究科事務所 (<a href="mailto:gradlaw@list.waseda.jp">gradlaw@list.waseda.jp</a>) 宛にご連絡ください。*2023/7/3 追記 ※CSSD (CHESICC) についてはこちら (<a href="http://www.chsi.com.cn">www.chsi.com.cn</a>) を確認してください。</p>
研究計画書 【所定様式】		<ul style="list-style-type: none"> <li>研究計画書には、志望動機・本研究科での研究テーマ、そのテーマについて自身で勉強したこと、および入学後の研究予定を 1000 字程度で記入してください。</li> </ul>
語学能力証明書 ※該当者のみ		<p>①日本語能力試験 (JLPT) 1 級もしくは N1 合格の「合否結果通知書」のコピー ②日本留学試験 (EJU) 「日本語」の成績(記述を除く)260 点以上の「成績通知書」のコピー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国において通常の課程による 16 年の学校教育すべてを修了した方のみ提出してください。</li> <li>①もしくは②のどちらかを提出してください。</li> </ul>
語学能力証明書 ※該当者のみ		<p><b>[第1次試験(外国語科目)免除のための証明書] ※外国人留学生は対象外</b> 以下の要件を満たした英語外部試験のスコアカードを提出した場合、第 1 次試験(外国語科目)が免除されます。出願締切日より遡って 2 年以内に受験したスコアカード/成績証明書を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>TOEIC (Listening and Reading Test) 865 点以上の公式認定証(Official Score Certificate)</li> <li>TOEFL iBT 83 点以上のスコアレポート(Official Score Report)</li> <li>IELTS 6.0 以上の成績証明書(Test Report Form)</li> </ul>
留学にかかる 経費負担計画書 ※該当者のみ 【所定様式】		<p>※外国籍(日本国永住者以外)の方のみ提出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>所定の用紙に、当学に留学する間の総費用(修士課程 2 年分の学費及び生活費)をどのように負担するのかについて、日本語または英語で記入してください。</li> <li>志願者本人の署名を忘れないようにしてください。</li> <li>経費負担計画書の「政府またはその他財團(Government/sponsoring agency)」の欄に記入された方は、給付金額および給付期間を明示した奨学金の給付に関する証明書を提出してください。</li> </ul>
在留資格認定証明 書交付申請書 ※該当者のみ 【所定様式】		<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国外在住の外国籍の方で在留資格の代理申請を希望する方のみ提出してください。</li> <li>合格した際に大学の代理申請書類として使用します。</li> </ul>
パスポートのコピー ※該当者のみ		<p>※外国籍の方のみ提出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>写真が掲載されたページ</u>のコピーを提出してください(有効期限に注意をしてください)。</li> </ul>
在留資格証明書 ※該当者のみ		<p>※有効な在留カード/外国人登録証明書(表・裏両面)のコピーまたは住民票の写しを提出してください。</p>
田山輝明ゼミ 稲門会奨学金 【所定様式】 ※該当者のみ		<p>※当該奨学金申請資格を有し、かつ受給を希望する方のみ提出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出願時に申請用紙の提出がない場合、合格後に受給を希望しても当該奨学金を受給することはできません。受給額等の詳細に関しては、「奨学金制度」の項目を参照してください。</li> </ul>

出願時に、本入試要項記載の出願資格を満たすために入学資格取得見込の証明書を提出された方につきましては、入学手続時に、その資格取得を証明する書類を提出してください。入学試験に合格されても、入学までにその資格取得の証明書を提出できない(入学資格を満たすことができない)場合は、入学を認められませんので注意してください。

## (7) 受験票

受験票は、出願が受理された志願者に対し、試験実施日の7日前までにTAO上にて公開いたします。試験実施1週間前になんでも確認できない場合は、直ちに本研究科事務所(E-mail: gradlaw@list.waseda.jp)までお問い合わせください。なお、受験票は第1次試験(筆記試験)の際に確認します。カラー印刷で出力し、第1次試験に必ず持参してください。

## (8) 試験科目

第1次試験		第2次試験
外国語科目	専門科目	
<ul style="list-style-type: none"><li>次のうちから1科目選択。 英語<sup>(注1)</sup> ・ ドイツ語 ・ フランス語 ・ 中国語 ・ ロシア語</li><li>外国人留学生<sup>(注2)</sup>は次のうちから1科目選択(ただし、母国語の選択は不可)。 英語 ・ ドイツ語 ・ フランス語 ・ 中国語 ・ ロシア語 ・ 日本語(法律学基礎)</li></ul>	専修科目1科目	口述試験

注1 以下の要件を満たした英語能力試験のスコアカードを提出した場合、第1次試験(外国語科目)が免除されます。出願締切日より遡って2年以内に受験したスコアカード/成績証明書を提出してください。

**※外国人留学生は対象外。**

- TOEIC (Listening and Reading Test) 865点以上の公式認定証(Official Score Certificate)
- TOEFL iBT 83点以上のスコアレポート(Official Score Report)
- IELTS 6.0以上の成績証明書(Test Report Form)

注2 ここでいう外国人留学生とは、原則として外国人であり留学生である人(外国籍かつ日本國永住者以外の方であり、在留資格「留学」で日本に滞在する方)を指します。外国人留学生とその他とで試験問題が異なることがありますので、自分がどちらに当たるかが不明である場合は、事前に本研究科事務所(gradlaw@list.waseda.jp)にメールにてお問い合わせください。

※出願後は、出願期間中であっても、受験科目の変更は一切認めません。

※「専門科目」は指導教員単位ではなく、専修単位で出題されます。

※「日本語(法律学基礎)」は法律学の基礎を問うことにより日本語の能力を試験する科目です。

## (9) 試験期日および合格者発表日

第1次試験 (筆記試験)		第2次試験 (口述試験)	
試験日	合格者発表日	試験日	合格者発表日
2023年9月2日(土)	2023年9月21日(木) 午前10時	2023年9月27日(水) または 9月28日(木)	2023年10月26日(木) 午前10時

※第2次試験(口述試験)の日時は、第1次試験合格者発表時に本研究科掲示板およびホームページに掲示します。

## (10) 試験時間割

第1次試験		第2次試験
外国語科目	専門科目	口述試験
10:00～12:00	13:30～15:00	第1次試験合格者発表時に掲示します

## (11) 第1次試験・第2次試験 試験場

第1次試験会場 (筆記試験)	第2次試験会場 (口述試験)
早稲田キャンパス8号館地下1階B101・B102教室 ※予定。確定情報は受験票でお知らせします。	口述試験はオンラインにて実施します。 ※事前にオンライン環境の準備(ビデオ通話が十分にできる程度のカメラ、マイク、Wi-Fi環境等)をしておいてください。

## (12) 合格者発表

第1次試験、第2次試験、それぞれの合格者発表日時に、早稲田キャンパス8号館1階本研究科掲示板および本研究科ホームページ上(<https://www.waseda.jp/folaw/glaw/>)で合格者の受験番号を発表します。

※第2次試験の実施日時は、第1次試験の合格者発表時に発表されます。

※合格通知書の発行を希望する場合は、合格発表後に本研究科事務所へご連絡ください。合格者発表以降対応します。

## (13) 注意事項

### 【受験生の皆さんへお願い】

- ・基本的な感染予防対策（手洗い等の手指衛生や咳エチケット等）を徹底してください。なお、本学ではマスクの着用は個人の判断に委ねます。
- ・感染症の罹患を含む体調不良により欠席した場合でも、本学が特別な対応を公表した場合を除いて、追試験の実施や入学検定料の返還は行いません。

- ① 受験生は全員必ず、試験開始時刻の30分前までに、受付に受験票（ご自身でカラー印刷したもの）を提示してください。
- ② 受験生は各科目試験開始時刻の30分前までに、試験教室に入室し、自分の受験番号の席についてください。20分前から、監督員による説明があります。試験場には受験票・筆記具を持参し、受験票は机上に置いてください。
- ③ 第1时限の試験開始後20分を経過してからの入場は一切認めず、第2时限以降の受験も認めません。また第2时限以降は、試験開始後20分を経過してからの試験教室への入室は認めません。
- ④ 答案は、黒のボールペン書きとします。（修正液・修正テープの使用を認めます。鉛筆、シャープペンシル、消えるボールペンの使用は認めません。）
- ⑤ 携帯電話、PHS、スマートフォン等は、必ず電源を切ってかばんにしまってください。時計としての使用も認めません。
- ⑥ いかなる場合も解答用紙は提出してください。試験終了時刻より前に答案が完成した場合でも、試験時間終了後、答案の回収・確認作業が完了し監督員の指示があるまで退室できません。
- ⑦ 試験時間中に使用できる物品は以下のとおりです。ただし、「試験時間中に使用できる物品」を使用している場合でも、不正行為防止のため、必要に応じて試験監督員が確認することがあります。また、文房具・時計等の貸し出しは行っていませんので、必要な物品は各自で忘れずに持参してください。

### 【試験時間中に使用できる物品】

物品	注意事項
黒のボールペン	消えるボールペンの使用は認められません。
修正液・修正テープ	

【試験時間中に使用できる物品（続き）】

物品	注意事項				
時計・ストップウォッチ	<p>試験教室に時計は設置していませんので、必ず各自で持参してください。</p> <p>ただし、以下に留意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>秒針音のするものは周囲の受験者の迷惑となる可能性があるため、使用を認めません。</li> <li>辞書・電卓等、時計・計時以外の機能のあるものは、使用を認めません。</li> <li>通信機能のあるものは、それが電波を発しない状態であっても使用を認めません。</li> <li>携帯電話等を時計として使用することは認めません。</li> <li>試験時間中に時計のアラーム音等が鳴った場合、不正行為となることがあります。</li> <li>その他、他の受験者の迷惑になる可能性や試験の円滑な実施に支障をきたす、または不正行為につながると試験監督員が判断した場合、試験場において試験監督員が確認し、使用を認めない場合があります。</li> </ul>				
マスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>マスクの着用は個人の判断に委ねます。</li> <li>無地のものにかぎり使用を認めます。</li> <li>写真撮影の際にいったん外していただくことがあります。</li> </ul>				
フェイスシールド	シールド部分が無色透明のものに限り使用を認めます。				
ビニール手袋	無地のものにかぎり着用を認めます。				
ティッシュペーパー・手指用ティッシュ	袋または箱から中身だけ取り出して使用してください。				
手指用消毒液	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験期間中は持参した手指用消毒液の仕様を認めません。手指の消毒を希望する場合は、試験監督員に申し出てください。</li> <li>教室にも手指用消毒液を複数設置する予定です。</li> </ul>				
ハンカチ・ハンドタオル	文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。				
座布団・ひざ掛け	文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。				
目薬・点鼻薬	試験時間中は机上に置かず各自の荷物の中にしまっておき、使用する場合は試験監督員に申し出てください。				
持込の認められた辞書等	<table border="1"> <tr> <td>外国語 (1冊まで。 但し外国学生は 2冊まで。)</td><td>外国語辞典</td></tr> <tr> <td>専門科目（冊数制限なし）</td><td>           (当日認められた場合に限り) 六法            * 使用可能な六法は、有斐閣「六法全書」、有斐閣「ポケット六法」、三省堂「デイリー六法」のいずれかに限ります。            * 上記3種類の六法の「追録」(出版社発行のものに限る。自らプリントアウトしたもの等は含まれない)は「六法」に含めます。            * 六法の「付録」(改正法案、六法の使い方等)は、「六法」に含まれません。         </td></tr> </table> <p>※電子辞書等は上記に含まれません。    ※専門用語辞典（法律用語辞典、外国法辞典等）は上記に含まれません。    ※いずれも原則として書き込みがあるものは使用できません。但し、書き込みがマークや線引きのみの場合には、試験監督が確認の上、使用を認めることができます。    ※付箋の使用は認めません。    ※辞典・六法の貸し出しは一切行いません。    ※六法の使用可否は、当日までお伝えできません。六法を持参するかどうかは各自でご判断ください。</p>	外国語 (1冊まで。 但し外国学生は 2冊まで。)	外国語辞典	専門科目（冊数制限なし）	(当日認められた場合に限り) 六法 * 使用可能な六法は、有斐閣「六法全書」、有斐閣「ポケット六法」、三省堂「デイリー六法」のいずれかに限ります。 * 上記3種類の六法の「追録」(出版社発行のものに限る。自らプリントアウトしたもの等は含まれない)は「六法」に含めます。 * 六法の「付録」(改正法案、六法の使い方等)は、「六法」に含まれません。
外国語 (1冊まで。 但し外国学生は 2冊まで。)	外国語辞典				
専門科目（冊数制限なし）	(当日認められた場合に限り) 六法 * 使用可能な六法は、有斐閣「六法全書」、有斐閣「ポケット六法」、三省堂「デイリー六法」のいずれかに限ります。 * 上記3種類の六法の「追録」(出版社発行のものに限る。自らプリントアウトしたもの等は含まれない)は「六法」に含めます。 * 六法の「付録」(改正法案、六法の使い方等)は、「六法」に含まれません。				

- (8) 上記「試験時間中に使用できる物品」以外の物品の使用は原則として認めません。机上に置いている場合や使用した場合は、不正行為とみなされる場合があります。次に「試験時間中に使用を認めない物品」の一例を示します。

【試験時間中に使用を認めない物品】

物品	備考
携帯電話、PHS、スマートフォン、タブレット、腕時計型端末等の通信機能のある機器	時計としての使用も認めません。必ず、電源を切ってかばんにしまってください。
電卓・電子辞書・音楽プレーヤー・IC レコーダー等の電子機器	必ず、電源を切ってかばんにしまってください。
耳栓	試験監督員の指示が聞こえない可能性があるので使用を認めません。
飲食物	ペットボトル飲料、飴、ガム等を含みます。
黒のボールペン以外の筆記用具(蛍光ペン、赤ペン、鉛筆、シャープペンシル等)、筆箱	
帽子等	フードの着用も認めません。
空間除菌グッズなど	

- ⑨ 万が一、当日筆記試験の実施が困難となった場合は、他形式での入学試験を実施予定ですその場合は全出願者へEメールで連絡します。
- ⑩ 合格者発表は、前述掲示にて確認してください。電話による合否に関する問い合わせには応じません。
- ⑪ 第2次試験は、第1次試験合格者発表の際に、受験生ごとに第2次試験日のうち特定の時刻を指定します。

#### (14) 「不正行為」に関する注意事項

本学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。本学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となることがあります。
2. 次のことをすると不正行為となることがあります。
  - ①カンニングすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、他の人から答えを教わる、身体、物品、机などにメモをする、メモを見るなど）。
  - ②筆記試験において、試験中に使用を認められていない物品を使用すること（机上に置くこと、身に着けることを含む）。
  - ③筆記試験において、「試験開始です。」の指示の前に、問題冊子・解答用紙に触れること（冊子を開く、解答を始める、裏面・余白などに書き込みを行うなど）。
  - ④筆記試験において、「試験終了です。筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにしてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。
  - ⑤試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
  - ⑥試験時間中に携帯電話等を身に付けること、使用すること。
  - ⑦試験時間中に携帯電話等や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
  - ⑧試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
  - ⑨試験場において監督員等の指示に従わないこと。
  - ⑩志願者以外の者が志願者本人になりすまして試験を受けること。
  - ⑪解答用紙を持ち帰ること。
  - ⑫その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
3. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。これらに応じない場合、不正行為を自認したものとみなします。
  - ・監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
  - ・別室または別席での受験を求めるこ。
  - ・本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすること。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとする。
4. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。
  - ・当該年度における本学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
  - ・当該年度における本学の全ての入学試験の結果を無効とすること。なお、入学後に不正行為と認められた場合は、本学規程に基づき退学を含む懲戒処分の対象となることがあります。

以上

## (15) 早稲田大学入学試験実施に際して

本学では、入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。あらかじめご了承ください。

### ◆受験環境について

可能な限り公平・静謐な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のようないくつかの対応をとることがあります。

①生活騒音（自動車・航空機・風雨・換気・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をする音、携帯電話等の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。

②試験中に携帯電話や時計等の音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験教室外に持ち出し、試験本部で保管すること、あるいはかばんの中から携帯電話・時計等を取り出し鳴動停止の操作をすることがあります。

③隣席の受験者の手洗いや、体調不良による入退室のため、監督員の指示により席を立っていただくことがあります。その場合でも、原則として試験時間の延長等特別な措置は行いません。

④机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。

⑤他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室または別席での受験を求めることがあります。

### ◆不可抗力による事故等

台風、洪水、地震、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻および終了時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については一切責任を負いません。

### ◆病気

試験当日は救護所に看護師が待機しています。試験中に体調が悪くなった場合には、その旨を試験監督員にすみやかに申し出てください。また、体調不良が疑われる受験者に対して、監督員が救護所での診察を促す場合もあります。ただし、移動や診察等に時間がかかった場合でも、試験時間の延長は認めません。

※学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウィルス感染症、インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない場合、他の受験生や監督員等への感染の恐れがあるため、受験をご遠慮ください（在宅でのオンラインによる口述試験についてはこの限りではありません）。また受験をご遠慮するなどで欠席した場合でも、追試験の実施や入学検定料の返還は行いません。

### ◆遺失物

物品を紛失した場合は、各試験場の監督員または係員に申し出てください。また、翌日以降は法学研究科事務所（EMAIL: gradlaw@list.waseda.jp）まで問い合わせてください。なお、入試当日の遺失物については、法学研究科事務所で3か月間保管し、その後処分いたします。

### ◆付添者について

試験当日、受験者以外の方は試験会場に入れません。

## (16) 出願書類および検定料の返還について

一度提出した書類および納入した入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、下記のケースに該当する場合は、入学検定料に限り返還いたします。早稲田大学法学研究科（EMAIL: gradlaw@list.waseda.jp）までご連絡ください。

- 1) 入学検定料を支払ったが、出願書類を提出しなかった。
- 2) 入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した。
- 3) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。
- 4) 入国制限・渡航制限により日本に入国できなかったことにより、本学での試験を受験できなかった場合。  
なお、クレジットカードにより入学検定料を納入した場合や、日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

### 3. 入学手続

#### (1) 入学手続期限

手 続 期 限 : 2023年12月中旬(予定)

※最終合格者に対し、11月下旬頃に入学手続書類を送付します。出願時と住所が変更となる場合には必ず連絡

をしてください。国外出願者に対しては手続書類の一部を早期に送付し、入学手続を行っていただきます。

※入学手続についての詳細は、最終合格者に送付する「入学手続の手引き」をご参照ください。

※期限内に入学手続が完了した場合、入学日は2024年4月1日となります。

#### ※在留資格認定証明書申請について

当学へ入学を許可された外国籍学生は、在留資格「留学」を取得することができます。日本に入国するための在留資格を申請するには、まず日本国内の法務省入国管理局に「在留資格認定証明書」を申請する必要があります。早稲田大学では入学手続を完了した国外出願の外国籍学生に限り、本人に代わって入国管理局に「在留資格認定証明書」の代理申請を行います。代理申請後、「在留資格認定証明書」が入国管理局より早稲田大学に交付されましら、早稲田大学から申請者に郵送いたします。「在留資格認定証明書」を受け取った後は、パスポートとともに日本大使館、領事館で「留学」ビザ（査証）を申請してください。「在留資格認定証明書」の交付には1~2ヶ月の時間を要しますので、入学手続時に、必要書類を本研究科まで送付してください。

#### (2) 入学金・学費・諸会費

2024年度入学者 入学金・学費・諸会費

(単位：円)

年度	納入期	入学金	学 費		諸会費					合 計
			授業料	演習料	学生健康増進 互助会費	学会 入会金	学会 会費	学友会 会費	校友会費	
初年度	入学時 (春学期)	300,000	312,000	1,500	1,500	5,000	1,000	1,250	—	622,250
	秋学期	—	312,000	1,500	1,500	—	1,000	1,250	—	317,250
	計	300,000	624,000	3,000	3,000	5,000	2,000	2,500	—	939,500
第2年度	春学期	—	412,000	1,500	1,500	—	1,000	1,250	—	417,250
	秋学期	—	412,000	1,500	1,500	—	1,000	1,250	40,000	457,250
	計	—	824,000	3,000	3,000	—	2,000	2,500	40,000	874,500

- (注意) 1. 本学学部、本学大学院または専攻科の在学、卒業、修了または退学者が再度入学する場合、入学金が免除されます。詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。  
2. 早稲田大学法学部等に在籍したことがある場合は、学会入会金は免除となります。ご自身が該当するかどうか不明な場合は、本研究科事務所までお問い合わせください。  
3. 校友会費は本学学部出身者、編入学者は免除されます。  
4. 学費等は改定されることがあります。  
5. 学費についてはMD一貫の適用ではなく、それぞれの課程に入学した年度の学費設定が適用されます。

一度提出した書類および納入した入学金(登録料)、学費・諸会費(春学期分)は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費(春学期分)のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

※本研究科と、他の研究科や学部とに、正規学生の身分で重複して在籍することはできません。

# 法 学 研 究 科 案 内

本研究科では、修士課程に民事法学専攻、公法学専攻、基礎法学専攻、先端法学専攻※の4専攻を設置し、民事法学専攻、公法学専攻、基礎法学専攻ではそれぞれに研究指導・専修科目・専修科目以外の科目を設置しています。配当科目については、本研究科webページ(<https://www.waseda.jp/folaw/glaw/students/guide/>)をご参照ください。

※先端法学専攻(LL.M.)の入試は別途実施しております。詳しくは先端法学専攻入試要項を確認してください。

博士後期課程では、民事法学専攻と公法学専攻の2専攻を設置しています。基礎法学専攻の研究指導は民事法学・公法学専攻内に設置されていますので、基礎法学専攻者は、各人の研究テーマの性質によってそのいずれかに進むことになります。

## 1. 専修からのメッセージ

各専修からのメッセージは以下URLより確認ください。

<https://www.waseda.jp/folaw/glaw/applicants/message/>

## 2. 履修・進学について

大学院修士課程に2年以上在学し、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および試験に合格した者を修了とし、修士（法学）の学位を授与します。

### （1）修了必要単位数

区 分	修了所定単位	備考
専修科目	4単位(2科目)	対象科目・算入ルール等については、入学後に配付される研究科要項参照。
専修科目、専修科目以外の科目 および他専攻の科目等	26単位(13科目)	他研究科等で取得した単位も算入可能(上限単位数あり)。対象科目・算入ルール等については、入学後に配付される研究科要項参照。
修士論文		
合計	30単位(15科目)	

### （2）修 士 論 文

指導教授の指示に従い、作成した修士論文は所定の期日に法学研究科に提出し、審査を受け、合格する必要があります。修士論文提出、審査は例年次のようなスケジュールですが、日程、手続の詳細は入学後別途お知らせします。

◎修士論文執筆・提出スケジュール※

日程	内容
2年次 4月	修士論文計画書提出
2年次 7月	修士論文報告会
2年次 12月初旬	修士論文概要書提出
2年次 1月初旬	修士論文提出
2年次 1月下旬～2月上旬	修士論文審査(面接)
2年次 2月下旬～3月初旬	修士論文審査結果の発表 (修了者発表)

※延長生の方には、9月修了に向けた修士論文提出スケジュールを案内します。

※1年修了を希望する方には、別途修士論文提出スケジュールを案内します。

### (3) 博士後期課程への進学

一般入試および自己推薦入試・学内AO入試による修士課程入学者は、博士後期課程への進学に際して、筆記による入学試験は課されておりませんが、修士論文審査・口述試験に合格し、法学研究科の委員会にて承認されることが条件となります。なお、博士論文提出までに外国語能力試験が課され、当該試験に合格することが必要となります。すなわち、入学試験としての筆記試験が免除された場合でも、博士後期課程入試の筆記試験と同日(修士2年時の1月)に外国語能力試験を受験していただくことになります。

# 奨学金制度

本研究科で受給できる主な奨学金制度は次のとおりです。(奨学金額は2023年度実績で掲載)。2024年度の奨学金制度の詳細については、入学手続時に配付する2024年度版「奨学金情報Challenge」を参照してください。  
(外国人留学生の方は留学センター発行の2024年度版「留学生ハンドブック」を参照してください)

## ■日本人学生用奨学金

奨学金名	目的とあらまし	奨学金額	出願資格	
学外奨学金	日本学生支援機構 奨学金【貸与】	国の育英奨学事業で、経済的理由により修学困難な者に学資を貸与することによって、教育の機会均等を図るとともに、社会に貢献する人材を育成することを目的とします。	●第一種 ※無利子 修士課程・専門職学位課程 (月額) 50,000円 88,000円 希望額を選択 博士後期課程 (月額) 80,000円 122,000円 希望額を選択 ●第二種 ※有利子 全課程 (月額) 50,000円 80,000円 100,000円 希望額を選択 130,000円 150,000円 標準修業年限内は継続して 貸与されます。	
	地方公共団体・民間団体の奨学金 【給付・貸与】	団体によって奨学金額・出願資格が異なります。 (詳細は、入学手続時に配付する「奨学金情報 Challenge」参照)		
学内奨学金	大隈記念奨学金 【給付】	早稲田大学創立者大隈重信を記念し、建学の精神を顕揚して、人材の育成に資することを目的とします。	(年額) 400,000円 ・成績優秀者が対象(修士課程1・2年生) ※奨学金登録の有無によらず決定。	
	小野梓記念奨学金 【給付】	早稲田大学創立当初の功労者である小野梓を記念し、経済的に修学困難な学生を援助することを目的とします。	(年額) 400,000円 ・修士課程1・2年生	
	篠原亜紀子奨学金 【給付】	本研究科に在学して勉学・研究に励んでいる学生の経済的支援を目的としています。	(年額) 400,000円 ・修士課程1・2年生	
	指定寄付奨学金 【給付】	全学で約40種類の奨学金があります。奨学金によって奨学金額・出願資格が異なります。(詳細は、入学手続時に配付する「奨学金情報 Challenge」参照)		

## ■ その他の外国人留学生用奨学金

奨学金名	趣旨	奨学金額	出願資格
学外奨学金	国費外国人留学生奨学金(国内採用) 【給付】	(月額)※2023年度実績 大学院 144,000円	・大学院生(標準修業年限内) ・日本政府と国交のある国の国籍を有する者 ・35歳未満の者 ・私費外国人留学生
	文部科学省外国人留学生学習奨励費 【給付】	(月額)※2023年度実績 大学院 48,000円	・大学院生(標準修業年限内) ・私費外国人留学生
	地方公共団体・民間団体の奨学金	団体によって奨学金額・出願資格・出願方法が異なります。 (詳細は入学後に配付する「留学生ハンドブック」参照)	
学内奨学金	私費外国人留学生授業料減免奨学金 【減免】	学業成績が特に優秀な私費外国人留学生を対象に、年間授業料を減免する制度です。	秋学期授業料より減免 ・大学院生(標準修業年限内) ・私費外国人留学生
	小野梓記念外国人留学生奨学金 【給付】	早稲田大学創立当初の功労者である小野梓を記念し、修学上特に経済的に困難な外国人留学生を援助することを目的とします。	(年額) 法学研究科 400,000円 ・大学院生(標準修業年限内) ・私費外国人留学生
	篠原亞紀子奨学金 【給付】	本研究科に在学して勉学・研究に励んでいる学生の経済的支援を目的としています。	(年額) 400,000円 ・修士課程1・2年生 ・私費外国人留学生
	指定寄付奨学金 【給付】	奨学金によって奨学金額・出願資格が異なります。 (詳細は入学後に配付する「留学生ハンドブック」参照)	

奨学課ホームページ : <https://www.waseda.jp/inst/scholarship>

## ■ 【ご参考】田山輝明ゼミ稻門会奨学金

### (1) 奨学金の概要

田山輝明ゼミ稻門会奨学金は、田山輝明法学部名誉教授および田山輝明ゼミ稻門会からの寄付からなる奨学金です。本学法学研究科修士課程民法専修進学予定者で、勉学上の経済的支援を必要とし、学業および人物ともに優れた者を援助することを目的としています。

### (2) 奨学金の内容

①奨学金額：40万円（給付）

②給付時期：2023年度中

#### 【特記事項】

- ・応募の際に申請した進路に進学しなかった場合は受給した奨学金を返還しなければなりません。

#### (3) 募集人員

1名

#### (4) 奨学金申請資格

田山輝明ゼミ稻門会奨学金を申請する者は、次の①～③のすべてに該当していること。

- ② 早稲田大学法学部に在籍する4年生または3年卒業対象者
- ③ 2024年度本学法学研究科修士課程民法専修に進学予定である者
- ④ 勉学上で経済的援助を必要とし、学業および人物ともに優れた者

#### (5) 申請方法

当学法学部ホームページ（以下のURL）より所定の書式をダウンロードし、必要事項を記入の上、本入試出願期間内にその他の出願書類とともに本研究科事務所へ郵送してください。

<https://www.waseda.jp/folaw/law/students/tuition/>

#### (6) 選考結果通知

採用された場合は、2023年10月下旬頃までに通知します。

\*新型コロナウィルスの影響で手続き方法が変更になる可能性があります。その場合はウェブサイトや大学からのメールでご案内します。【留学センター 在留資格 ウェブサイト:<http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/index.html>】

### 合格後（入学手続時）の在留資格「留学」の取得について

早稲田大学への入学を許可された外国学生は、在留資格「留学」を申請することができます。「留学」の在留資格を有する学生は、外国人留学生授業料減免や留学生対象奨学金を申請することができます。**「留学」以外の在留資格でも入学することはできますが、上述のような留学生対象の各種補助制度を利用できませんのでご了承ください。**

「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできませんので注意してください。以下の（1）～（6）をよく読んで、いずれかに該当する方は在留期間更新や在留資格変更、在留資格認定証明書代理申請など必要な在留手続を行ってください。手続きに「入学許可書」が必要な場合は、入学予定学部・研究科事務所に発行を依頼してください。

#### **（1）「留学」の在留資格を有している場合**

現時点ですでに「留学」の在留資格を有している場合は、必要に応じて「在留期間更新許可申請」を行ってください。在留期間の更新は在留期間満了日の3か月前から手続きできます。手続に関する詳細は、上記のウェブサイト内、「入学前の方へ」を参照してください。

#### **（2）「短期滞在」の在留資格を有している場合**

現時点で「短期滞在」の在留資格を有している場合は、原則として一度国外へ出て「留学」の在留資格を申請する必要があります。「留学」の在留資格の申請方法については、「（4）在留資格を有していない場合」を参照してください。

#### **（3）「留学」「短期滞在」以外の在留資格を有している場合**

「定住者」、「家族滞在」などの在留資格を有している場合は、特に手続きの必要はありません。ただし、「留学」の在留資格へ変更を希望する場合は、「在留資格変更申請」を行ってください。手続に関する詳細は、上記のウェブサイト内、「入学前の方へ」を参照してください。

**【注】**在留期間更新許可申請および在留資格変更許可申請には、早稲田大学が発行する書類が必要です。出入国在留管理局に申請する前に、申請書、入学許可書およびその他申請に必要な書類を大学に提出する必要がありますので注意してください。

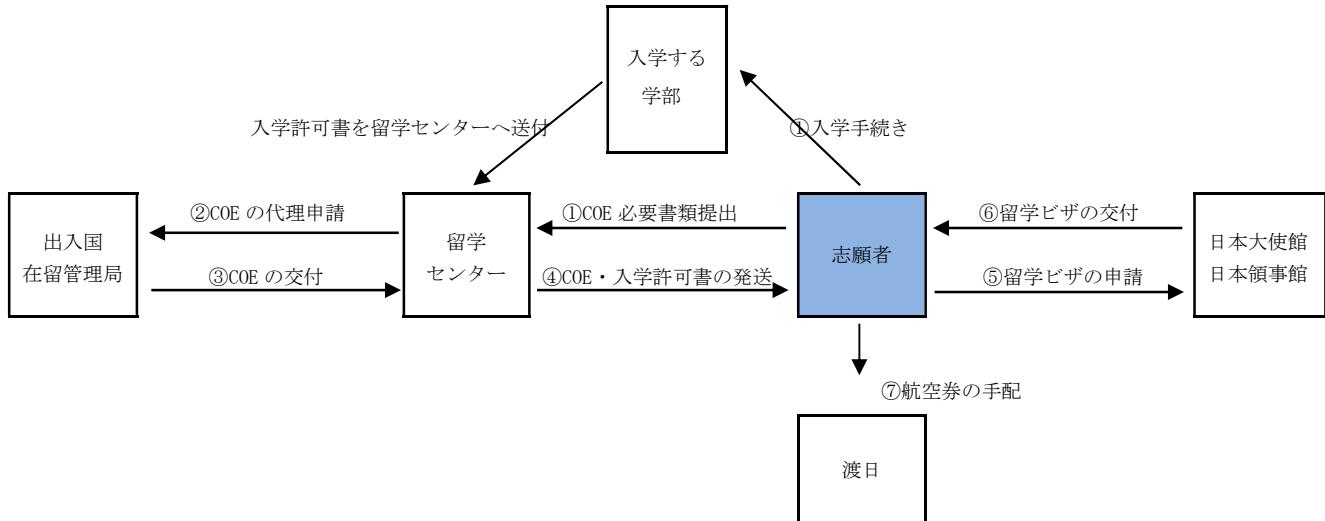
#### **（4）在留資格を有していない場合**

在留資格を申請するには、まず日本国内の出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」（Certificate of Eligibility=COE）を申請する必要があります。早稲田大学では本人に代わって出入国在留管理局にCOEの代理申請を行います。COEが出入国在留管理局より交付され早稲田大学に送付されましたら、早稲田大学留学センターから申請者に入学許可書とともに郵送します。COEを受け取った後は、パスポート、入学許可書とともに国籍を有する国または居住国の日本大使館、領事館で「留学」ビザ（査証）を申請してください。COEの有効期間は発行日から3か月です。ビザを取得し渡日するまでを、COEの有効期間内に行う必要があります。出入国在留管理局での審査には2～3か月程度を要しますので、申請が入学直前にならないよう注意してください。

## 【留学ビザ取得までの流れ（①→⑦）】

※留学ビザ交付にかかる日数は大使館、領事館によって異なり、場合によっては3週間ほど要します。

留学センターにCOE申請書類を提出後、申請予定の日本大使館、日本領事館へ連絡して、おおよその所要日数を把握しておいてください。



## (5) 在留資格の取得／変更

〈査証免除または短期滞在ビザで入国している場合〉

査証免除／短期滞在ビザ（観光、商用、知人・親族訪問等90日以内の滞在で報酬を得る活動をしない場合）で入国した場合、原則として、一度出国し、国籍を有する国または居住国の日本大使館・領事館でCOEを提出し、留学ビザを取得してから再入国してください。しかしながら、入学試験日が年度末（2月末、3月）で、新学期前に帰国が難しい場合は、COEが発行されたら、出入国在留管理局で資格変更許可申請を行うことは可能です。ただし、例外的な申請となりますので、在留資格の取得が許可されない場合もあります。在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、審査の期間や結果について、早稲田大学は一切責任を負いません。

## (6) その他注意事項

- 早稲田大学留学センターが代理申請を行う在留資格は「留学」のみです。その他の在留資格を申請する場合は、自身で出入国在留管理局に申請してください。
- 必要に応じて、出入国在留管理局から追加書類を要求されることがあります。
- 事情により早稲田大学への入学を辞退する場合は、至急COEを留学センターへ返送してください。また、日本の他大学も合格した場合、COEの交付申請が重複しないように注意してください。重複している場合、証明書は交付されません。
- 重国籍者で日本国籍を有する場合は、COEを申請できません。
- 在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、交付が遅れる場合や不許可となった場合、航空券の違約金等、早稲田大学は一切の責任を負いません。渡航手配は慎重に行ってください。
- 在留資格「留学」の手続に関しては早稲田大学留学センター（E-mail : cie-zairyu@list.waseda.jp）へ問い合わせてください。

〈 当学各キャンパス案内 〉

<https://www.waseda.jp/top/access>

〈 交 通 案 内 〉

早稲田キャンパス

J R 山 手 線	} 高田馬場駅（徒歩 20 分）
西 武 新 宿 線	
東京メトロ東西線	早稲田駅（徒歩 5 分）
都バス(学 02)	高田馬場—早大正門（徒歩 0 分）
都バス(早 77)	新宿駅西口—早稲田（早大正門下車／徒歩 1 分）
都バス(早 81)	渋谷駅—早大正門（徒歩 0 分）（循環）
都バス(上 69)	上野広小路—早稲田（徒歩 2 分）（循環）
都電 荒 川 線	三ノ輪橋—早稲田（徒歩 5 分）

2023年6月

**早稲田大学大学院**

**法学研究科 TEL 03-3232-3924**

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

<https://www.waseda.jp/folaw/glaw/>

gradlaw@list.waseda.jp